

会 議 議 事 録

					記録者 由利 毅
供覧	教育長	教育部長	課長	課長補佐・GL	グループ員
件 名	令和5年度 第1回 龍ヶ崎市社会教育委員会議				
日 時	令和5年7月27日(木) 午前10時～午前11時5分				
場 所	龍ヶ崎市役所5階 全員協議会室				
主催者	教育委員会 文化・生涯学習課				
出席者	【委 員】 長谷川裕一、北澤宏、松田高義、荒井久仁夫、原加代子、椎塚俊裕、井川静雄、油原信義、山村尚、朝日出貴子、吉野功一、阿部雅江、野口宣二 (13名) 【事務局】 大古教育長、国松課長、清水補佐、関主事、記録者				
内 容	1 開会 2 教育長あいさつ 3 委員紹介 4 議長選出 5 議事 令和4年度 事業報告について 6 閉会				
事務局 (記録者)	(開会)				
事務局 (教育長)	(あいさつ)				
事務局 (記録者)	(委員紹介)				
事務局 (記録者)	(議長選出) 社会教育委員会議の議長は、慣例により、委員として委嘱させていただいております市議会議長をお願いしておりますことから、油原委員に議長をお願いしたいと思います。皆さま、いかがでしょうか。				
委 員	「異議なし」				
事務局 (記録者)	ありがとうございます。それでは油原委員に議長をお願いしたいと思います。油原議長は議長席へご移動をお願いします。				

	(油原議長、議長席に移動)
議 長	(議長あいさつ)
事務局 (記録者)	ありがとうございます。それでは、今後の議事進行につきましては、油原議長にお願いいたします。
議 長	(議事録署名人として油原議長、朝日出委員を指名) (各委員「異議なし」) (「審議会等の会議の公開に関する条例により、議事録の公開にあたり、委員各位の名前を記載してよいか聴取」) (各委員「異議なし」)
議 長	それでは、議事に入りたいと思います。「令和4年度社会教育関係事業報告(案)」について、事務局より説明をお願いします。
事務局 (課長)	(配付資料に沿って概要を説明)
議 長	ただいま説明がありましたが、事務局より事前に委員の皆様より質疑等を頂いていると伺っていますので、質疑内容並びにその回答について報告願います。
事務局 (記録者)	(阿部委員からの次の質疑等に対する回答を報告) 1 アフタースクール、サタデースクールの市内全地域での実施と身体活動面での講座の提供について 2 「親子で作る龍ヶ崎市で収穫できる食材を使った簡単メニュー」の募集再開について 3 家庭教育学級での食育指導について 4 文化会館での文化団体との共催事業の復活について
議 長	事前質疑等については以上であります。全体的に何か皆さんからご意見等がありましたらお願いします。
松田委員	2 頁の龍崎校木造扁額及び龍ヶ崎扁額の文化財指定で、嘉彰親王は何と読むのですか。
事務局 (記録者)	「よしあきしんのう」と読みます。
松田委員	嘉彰親王の書というのは、龍ヶ崎とどのような関係があつて指定文化財の対象になったのですか。
事務局 (由利係長)	嘉彰親王は皇室の方です。明治 8 年に上町の八坂神社裏の中央公園の敷地に龍ヶ崎小学校が開校した創立記念にこの扁額が寄贈されたものです。誰が皇室の嘉彰親王に龍崎学校の書を依頼したのかは文化財保護審議会でも議論になったところで、依頼の経緯は明らかになっていませんが、その後、龍ヶ崎小学校が田町に移った後もずっと正面玄関に飾ってあったという経過を踏まえて、この市指定文化財に認定されたところですよ。
松田委員	皇族の嘉彰親王と龍ヶ崎との繋がりは確認はされなかったのでしょうか。
事務局 (記録者)	直接の関係について示すものはなかったのですが、この扁額が嘉彰親王のものだということ、他の書と比べて確認ができました。嘉彰親王と龍ヶ崎の縁はつきりはしなかったのですが、当時全国各地での学校創立に際して嘉彰親王が書を寄贈しているこ

	とが確認でき、それらの一環で龍ヶ崎小学校にも書が寄贈されたものと考えています。扁額を学校に寄贈されたのは、元教員の方や町の名士の方々で額の裏に連名で書いてあります。そういった経緯があり、嘉彰親王に依頼をして書をしたためてもらい、木造の額にして学校に納めたとの関係で指定文化財に認定したところです。
松田委員	嘉彰親王と皇族の繋がりとは確認していますか。
事務局 (記録者)	皇族の方であると確認しています。上野公園にこの方の銅像がありまして、経緯を調べると、皇族として戦地に赴いて活躍をされた方で、戦後の負傷者の救済ということで日本赤十字社が結成された経緯にもこの方が携わっているということなども確認しております。
松田委員	子ども地域活動への参加促進で、市内一斉清掃の参加の呼びかけなどでポイントシールを与えているなどがわかるのですが、市内一斉清掃が本年度から 1 回少なくなるというようなことを通知で確認した覚えがあるがいかがでしょうか。
事務局 (記録者)	昨年から回数が減ったというのは担当課から聞いておりますが、清掃活動の減った経緯については後ほど担当課に確認したいと思います。
松田委員	真面目に参加している人達は、事業が減ること自体がおかしいなと感じており、参加している子どもたちも同様に感じているので、もう少し議論していただきたいと思います。 成人式は文化会館での一括開催では賑やかすぎるといった観点から分散方式になったと記憶していますが、今年 1 月 8 日には 2 部方式で文化会館で開催されました。80%近い出席率の中で騒動とかはなかったのですか。
事務局 (課長)	以前とは成人者たちの状況が異なり、本当に厳粛に静かに実施できました。
松田委員	そのぐらい、神妙に行事を行っていただければありがたいのですが、今後の状況見ながらいろんな施策を講じていっていただきたいと思います。
山村委員	指定文化財説明板の設置として、多宝塔、馴馬城跡とあるが、現在市街地の中に歴史的建造物が 2 件見受けられます。それらに関して、市民活動団体が専門家を招いて評価をしてもらっていて、私もその場に参加して価値があるという評価を聞いています。それらに関して文化財や市民遺産としての登録を市はどのように考えていますか。
事務局 (記録者)	団体の方から経過は伺っています。1 件については売りに出ており、他の 1 件については所有者の方がいると聞いています。建造物では小野瀬家住宅が登録有形文化財になっており、多宝塔や旧竹内農場赤レンガ西洋館などが指定文化財や市民遺産となっています。文化財の指定にする場合、所有者との関係というのが問題になってきます。所有者や管理者の方から文化財認定の申し出があれば、当然教育委員会としても検討していくことになるかと思いますが、まだ市民団体の方から、こういうのがあるとか、専門家の方に見ていただいたというような段階でございますので、現段階で文化財として認定するのかという検討には至っていません。
山村委員	認識していただいているというところでもいいのですが、文化財として何のために指定するのかというと、もちろん龍ヶ崎の歴史を知ることと、外から来た方にPRできるということとでもあります。龍ヶ崎にはこういうものがあると自慢できるようなものであるということだと思います。そういうものがあることで、今後いいこともたくさんあると思いますので川北邸、小野瀬邸などにはその辺りに注視していただきたいと思います。
山村委員	子供の地域活動への参加促進について、そもそもなぜ子供が地域の活動に参加するのかということがあると思います。今、子供たちに地域のことに興味を持って関与していただきたいというのは教育委員会の方でも感じていると思います。小中学生に限ら

	ず、高校生でも地域に関わりをもって、地域のためによくしたいという考え方が聞こえています。教育委員会の方からも同じような意見が聞こえてきますが、今この二つだけしか記載がないのですが、これ以外に何か考えられていることはあるのか。
事務局 (課長)	こちらの資料にあることが、現在、主に実施していることですが、この他にとなりますと、特にはありませんので、今後、そういう部分も含めて検討していきたいと考えております。
山村委員	行政の方ではあまり認識していないと思いますが、市民活動団体が市を良くしようと学生を勧誘して活動に関与してもらうことで、今まで関心がなかった周囲の大人たちが動き出すということがみられます。先日、私もある団体の活動で実感したところです。 しかし、学生からは情報がないので参加できないという話を聞きます。情報があれば積極的にボランティア活動に参加しますとも聞いています。 ここでいう子供たちとは小中学生のことを言うのかも知れませんが、市民活動には小中学生も参加してもらっています。高校生が主導で街歩きをやったりもしています。ボランティア中のけがなどは注意しなければいけないと思いますが、子供たちは地域のために、地域に関心を持っていて、地域をよくしたいという考えをいろんなところで思っています。ですので、各学校と連携して子供たちが地域のために活動する場を広げていけるように考えていただければと思います。
荒井委員	馬場台第 2 遺跡の現地説明会について書いてあり、発掘調査の結果及び遺跡の概要について説明したとあります。1,260 平米の調査について、古墳時代を中心とした住居跡 12 件を確認し、その他、多数の土器片が出土とあるのですが、こうした出土品はこれまでも相当出てきていると思いますが、どちらに保管・管理されているのでしょうか。 もう 1 点が部活動の地域移行についてです。2023～2025 年を国では推進期間として位置付け、これを各自治体に投げかけているのかなと思います。茨城県では推進計画を策定済みです。これを受けて市町村でも、その推進計画に基づいた取り組みをしていくことになると思いますが、龍ヶ崎市教育委員会なのか、市長部局なのかちょっとわからないのですが、現状と今後の取り組み、方向性などを教えてください。
事務局 (記録者)	文化財については、龍ヶ崎は昭和 50 年頃から竜ヶ崎ニュータウンの開発に伴う発掘調査ということで 30 カ所以上の遺跡の調査が茨城県教育財団により実施されてきました。その他市の道路整備、公共施設建設等に伴う遺跡の発掘調査もこの間実施しています。出土した土器等については保存するのが原則となっています。天箱と呼ばれるプラスチックケースや、完全な形になっている土器は綿などを入れた段ボール箱に収めて全体の 90%以上は龍ヶ崎小学校敷地内の収蔵庫に保管してあります。 収蔵庫は小学校のプールがあった場所にあり、教育財団が龍ヶ崎で発掘調査をしていた頃に使っていた二階建てのプレハブの建物と大正堀川よりにある、鉄筋校舎を建てるときの仮校舎に使っていた平屋のプレハブの建物との 2 軒に全部で数千箱が分けて保管してあります。かなり老朽化しており、現在市の中期事業計画に載せて令和 8 年度に別の場所へ新しい収蔵庫を建設して移す計画となっています。残りの 10%の出土遺物については、歴史民俗資料館で原始古代の資料として展示しています。今回報告させていただきました馬場台第 2 遺跡から出た遺物につきましても、来週の火曜日から歴史民俗資料館の企画展として展示します。そういったことで活用もしているところです。
事務局 (課長)	部活動の地域移行につきましては、今年度より文化・生涯学習課が担当となっています。教育部長、教育次長、教育総務課長、文化・生涯学習課長、指導課長、スポーツ推進課長がメンバーとなる検討会議を発足させており、1 回目の検討会を開き、会議の役割や今後のスケジュール等について協議しました。その他、柏市の教育委員会を訪問し先進地の状況を確認しました。また先日は県主催の研修会にも参加しています。1 回目の検討会議では、まずは休日の部活動について地域移行進めていき、休日

	の方が整ったら平日の方にも取り入れるということを共有したところです。これから 9 月にも会議が予定されており、今後の方向性を決めていきたいと考えております。
荒井委員	今後の方向性も含め地域移行に向けた龍ヶ崎市としての計画は、今年度内にまとめるのか、もう少しかかるのか、その辺を教えてください。
事務局 (課長)	今年度に最終的に報告書という形で今後の方向性を示したいと思っています。但し、予算や指導者の問題が課題になってくると思っています。そのため、場合によっては令和 6 年度前半までかかってしまうこともあろうかと考えています。今後の検討会議での協議内容によって決まっていくのではないかと考えています。
議 長	他にご質問、ご意見等ございませんか。
	(意見・質問なし)
議 長	他にないようでしたら、令和4年度事業報告について、ご承認いただけますか。
	(異議なし)
	ありがとうございました。 以上をもちまして、本日の会議は終了とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。
	令和5年7月27日に開催された会議の内容については、上記のとおり相違ありません。 令和 年 月 日 議事録署名人 _____ 議事録署名人 _____